



保存用



- ご使用前にこの取扱説明書をよくご覧の上、正しくご使用ください。
- 器具の取付工事は、必ず工事店・電器店(有資格者)に依頼してください。
- 一般の方の電気工事は、法律で禁止されています。
- ご使用后廃棄される場合は、清掃回収者への安全面に十分配慮して処理してください。
- 工事店様・電器店様へ・・・工事終了後、この取扱説明書はお客様に必ずお渡しください。

■取付前に必ず確認してください



警告

「警告」は人身事故の原因になる危険

- 異常な振動や衝撃、腐食性ガスや可燃性ガス、粉じんの影響の受ける場所では使用できません。
→火災・感電・落下・錆びの原因になります。
- サウナ風呂等の高温場所では使用できません。
→火災・焼損・やけどの原因になります。
- 指定の電球以外は使用しないでください。
→焼損・過熱・変色の原因になります。
- 器具や電球を布や紙等でおおって使用しないでください。
→火災・焼損・過熱・故障・変形の原因になります。
- 器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。
→感電・落下・焼損・過熱・変色の原因になります。
- 電球外管が割れた場合は絶対に点灯しないでください。
→感電の原因になります。
- 電源の接続は取扱説明書に従って確実にこなしてください。
→接続が不完全な場合、故障の原因になります。
- 器具の取付けは器具重量に耐える場所に取扱説明書に従って確実にこなしてください。
→取付けに不備があると落下・けがの原因になります。
- アース端子(線)が付いている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行ってください。
→接地工事が不完全な場合、感電・絶縁不良の原因になります。



注意

「注意」は器具破損の原因になる危険

- 寒暖の差の激しい場所では使用しないでください。
→感電・絶縁不良・電球破損・器具内部の結露の原因になります。
- 点灯中および消灯直後は器具や電球が高温になっていますので素手で触らないでください。
→やけどの原因になります。
- 器具の定格電圧と電源電圧を必ず確認してください。
→間違っ器具に過電圧を加えた場合、電球の短寿命および火災・過熱の原因になります。
- 器具に注意シールが貼り付けされている場合はその指示に従ってください。
→守っていただかないと火災・感電・落下・けが・故障の原因になります。
- スイッチの取付工事は電源側を切るように結線してください。
→逆にしますと感電・事故の原因になります。
- ケーブル線は人の通る場所では露出しないように処理してください。
→ケーブル線を引っ掛け、絶縁不良・けが・ケーブル線の損傷の原因になります。

この取扱説明書のマークについて SAFETY INFORMATION

警告

説明書中の「警告」は人身事故の原因になる危険を示します。

WARNING

A WARNING IN THE MANUAL DENOTES A HAZARD THAT CAN CAUSE INJURY OR DEATH.

注意

説明書中の「注意」は器具破損の原因になる危険を示します。

CAUTION

A CAUTION IN THE MANUAL DENOTES A HAZARD THAT CAN DAMAGE EQUIPMENT.



このマークのついている説明文は必ず守ってください。
KEEP THE NOTICE WITH THIS MARK.



このマークのついている説明文は特に注意してください。
BE CAREFUL THE NOTICE WITH THIS MARK.

裏面も必ずお読みください。

- 新日軽の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
- 〈電源工事〉素人工事は危険です。電気工事店様へ依頼してください。

■注意事項

施工にあたっては次のような点に注意してください。

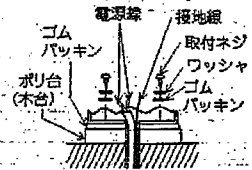
●ポール

- ①モルタル用に海砂を使用されますと、塩分が多量に含まれていますから腐食の原因になりますのでその使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。
- ②モルタルやコンクリートの抽出液が工事中にアルミ製品の表面を流れないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になります。
- ③モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用があるのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。
- ④施工時にアルミ製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いは十分注意してください。
- ⑤アルミ製品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合にはビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- ⑥腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。

●照明灯

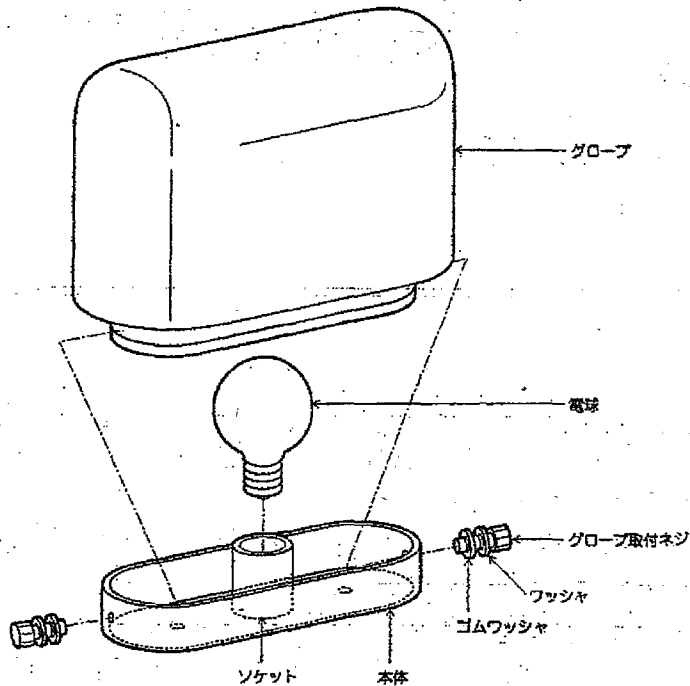
- ①異常な振動や衝撃、腐食性ガスや可燃性ガス、粉じんの影響の受ける場所では使用できません。
- ②注意シールが貼付しています器具はその指示に従ってください。
- ③防水形器具として使用される場合は接地工事を行なってください。
- ④取付面と器具間に隙間が発生したときはコーキング処理等の防水処理を行なってください。

- ⑤木柱や木台に取付ける場合
特にメタルラス張り、ワイヤラス張りの木造営物に取付ける場合、ポリ台木台が必要です。

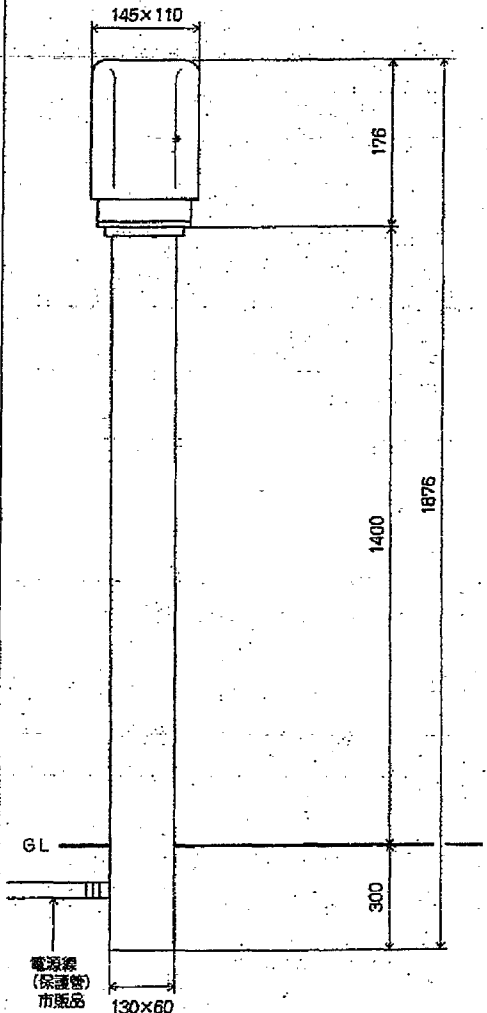


■照明各部の名称

△ 部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



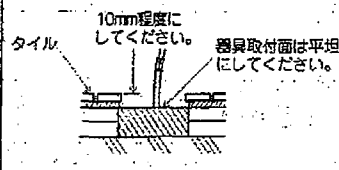
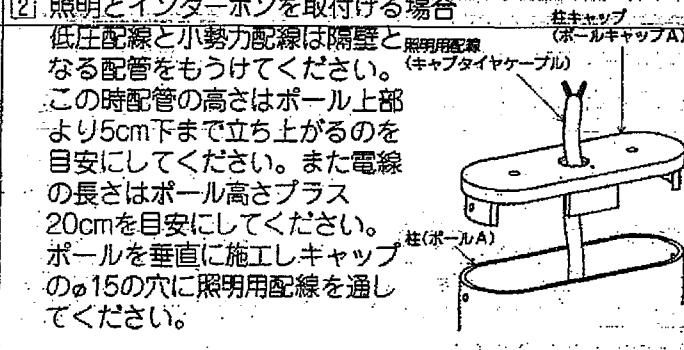
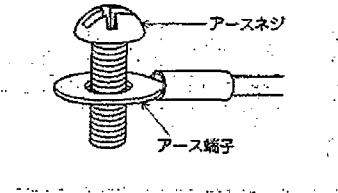
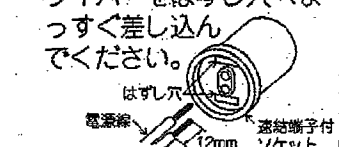
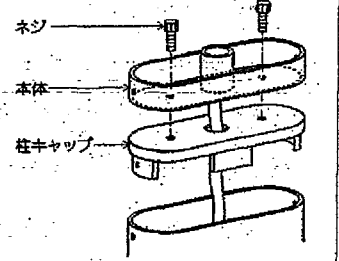
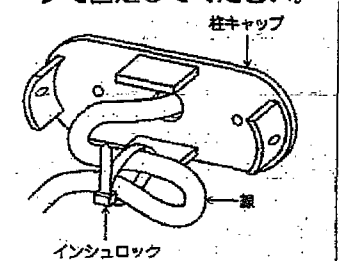
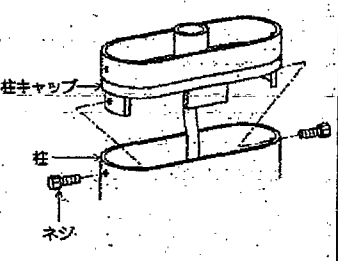
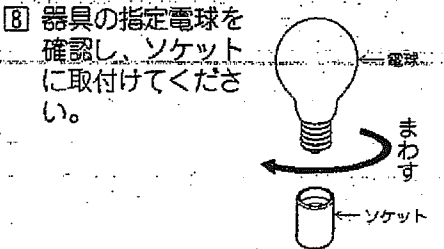
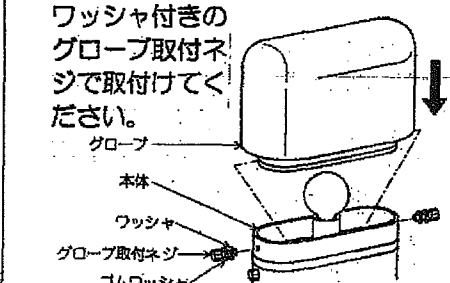
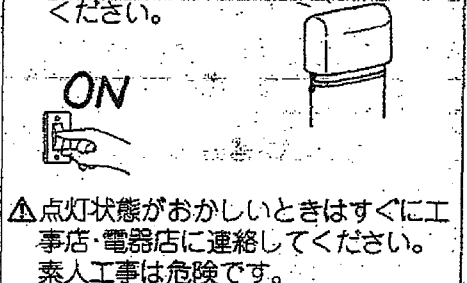
■納まり図



■取付順序と操作方法

①ぬれた手では絶対に行なわないでください。感電・故障の原因になります。

△必ず取付順序にしたがって取付けてください。取付けに不備があると落下・けが・過熱の原因になります。

<p>① 器具取付面を平らに仕上げます。取付面に凹凸がありますと、取付部のパッキンの防水性が損なわれますので十分ご注意ください。</p>  <p>10mm程度にしてください。器具取付面は平坦にしてください。</p>	<p>② 照明とインターホンを取付ける場合 低圧配線と小勢力配線は隔壁と照明用配線(キャブタイヤケーブル)なる配管をもつてください。この時配管の高さはポール上部より5cm下まで立ち上がるのを目安にしてください。また電線の長さはポール高さプラス20cmを目安にしてください。ポールを垂直に施工しキャップのφ15の穴に照明用配線を通してください。</p>  <p>柱キャップ (ポールキャップA) 照明用配線 (キャブタイヤケーブル) 柱(ポールA)</p>	<p>③ 湿気の多い場所、水気のある場所を取付ける場合は、必ずD種(第三種)接地工事を行なってください。</p>  <p>アースネジ アース端子</p>	
<p>④ 電源線を照明本体の接続端子に差込んでください。キャブタイヤケーブルの場合は付属の棒端子を取付けてください。はずす時は幅6mmのマイナスドライバーをはずし穴へまっすぐ差し込んでください。</p>  <p>電源線 はずし穴 12mm 接続端子付ソケット</p>	<p>⑤ 本体を付属のネジ(M4×12)で柱キャップに確実に取付けてください。</p>  <p>ネジ 本体 柱キャップ</p>	<p>⑥ 線の余長を柱キャップの足に付属のインシュロックで固定してください。</p>  <p>柱キャップ インシュロック</p>	<p>⑦ 柱キャップをポール内ネジセットのネジで固定してください。</p>  <p>柱キャップ 柱 ネジ</p>
<p>⑧ 器具の指定電球を確認し、ソケットに取付けてください。</p>  <p>電球 まわす ソケット</p> <p>△電球の取付けは丁寧に、確実に行ってください。破損・落下の原因になります。</p>	<p>⑨ グローブを本体に合わせ、矢印方向に押さえながらワッシャ、ゴムワッシャ付きのグローブ取付ネジで取付けてください。</p>  <p>グローブ 本体 ワッシャ グローブ取付ネジ ゴムワッシャ</p>	<p>⑩ 電源を入れて、点灯を確かめてください。</p>  <p>ON</p> <p>△点灯状態がおかしいときはすぐに工事店・電器店に連絡してください。素人工事は危険です。</p>	


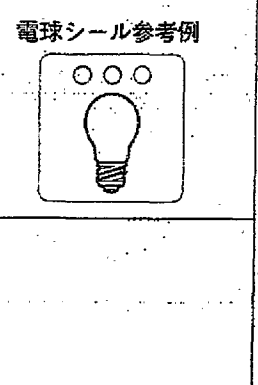
■器具のお手入れ

①ぬれた手では絶対に行なわないでください。感電・故障の原因になります。

△必ず電源を切ってから行なってください。感電・やけどの原因になります。

△点灯中や消灯直後は器具や電球が高温のため危険です。しばらくしてから行なってください。

△安全に使用していただくために、約6ヶ月ごとに清掃・点検を行なってください。

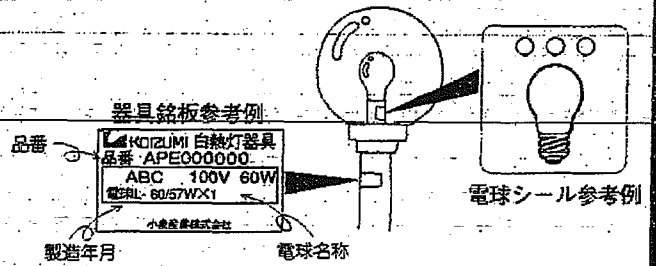
 <p>やけどのおそれあり</p> <p>点灯中や消灯直後の電球にさわらない</p>	<p>(1) 電球の交換方法</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 電源を切ってから行なってください。 ② グローブを■取付順序の⑨を参考に取外してください。 ③ ■取付順序の⑩を参考に電球を交換してください。(指定電球は器具に表示してある電球シールをご確認ください。) ④ グローブを■取付順序の⑨を参考に取付けてください。 <p>(2) グローブのお掃除</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 電源を切ってから行なってください。 ② グローブを■取付順序の⑨を参考に取外してください。 ③ グローブは水洗いの後よく乾かしてください。 ④ グローブを■取付順序の⑨を参考に取付けてください。 	<p>電球シール参考例</p> 
---	--	---

△ この取扱説明書はいつでもご覧いただけるように大切に保存してください。

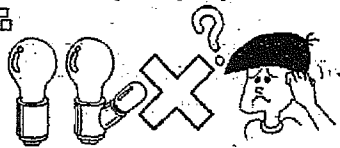
保存用

ご使用にあたってのご注意(一部仕様の異なる器具があります) 58

◆品番・製造年月は器具銘板に記載されています。電球種類は器具の電球シールをご確認ください。交換用の電球は器具の指定のものを必ずご使用ください。



○器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。



感電・落下・焼損・過熱・変色の原因になります。

○器具や電球を布や紙等でおおわないでください。火災・焼損・過熱・故障・変形の原因になります。

○器具のすきまや放熱穴等に金属類を差し込まないでください。

感電・故障の原因になります。

○点灯中および消灯直後は器具や電球が高温になっていますので素手で触らないでください。



やけどの原因になります。しばらくしてから取り扱ってください。

○器具の下にストーブ等の高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。

火災・焼損・過熱・故障・変形の原因になります。

○シンナーやベンジン等の揮発性のもの拭いたり、殺虫剤をかけたらないでください。



変質・故障の原因になります。

○器具や電球に着色等をしないでください。焼損・過熱・故障の原因になります。

○器具をまるごと水洗いしないでください。感電・焼損・故障の原因になります。

△お手入れや電球交換の時は必ず電源を切ってください。



通電のまま行なうと、感電の原因になります。

△器具から煙が出たり、変な臭いがしたときは、速やかに電源を切ってください。

放置しますと火災・落下・けがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。

△電球交換の際は、必ず器具表示および取扱説明書の指定の種類・ワット数の電球をご使用ください。間違った場合、火災・やけど・故障・変形・変色の原因になります。

△器具の汚れは乾いた柔らかい布、または中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。

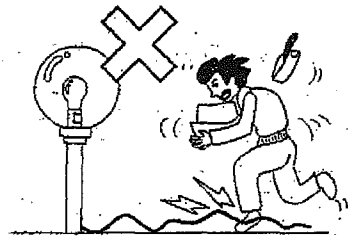


感電・焼損・故障の原因になります。

△点検・清掃時には、接合部にゆるみおよび器具や電球に損傷等がないかを確認してください。

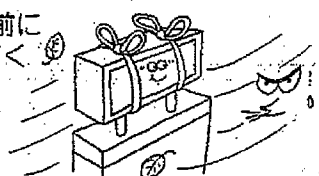
異常がありましたら、購入店にご相談ください。

△ケーブル線は人の通る場所では露出しないように処理してください。



ケーブル線を引っ掛け、絶縁不良・けが・ケーブル線の損傷の原因になります。

△台風や強風の場合、事前に器具の点検・補強をしてください。



倒壊・落下・けが・破損の原因になります。